

事業番号	05 06 01	事業改善シート (26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	資源循環システム構築事業費			担当課	部局	環境部	
					課・室	資源循環推進課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	junkan@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 2 循環型社会の形成		実施期間	S46 ~		

1 事業の概要

目指す姿	循環型社会の形成を推進するために、廃棄物の排出を抑制し、環境にやさしいライフスタイルを推進する。 成果目標：1人1日あたり一般廃棄物排出量 862g(H24) → 800g(H29) ：産業廃棄物総排出量 3,709千t(H20) → 3,600千t(H29)		
現状(予算編成時)	・廃棄物の発生抑制に向け、レジ袋削減事業については、「レジ袋削減協働アピール」によるレジ袋削減県民スクラム運動に取り組んでいる。また、食べ残しの削減のための協力店の募集や、産業廃棄物の排出抑制に向けたフォーラムを開催し、県民・事業者等への啓発を行っている。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 都道府県は、市町村に対し必要な技術的援助を与えること。 国、都道府県及び市町村は、国民及び事業者の意識の啓発を図るよう努めなければならない。	
	県民との協働による実施：実施中	【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	○ 1人1日あたり一般廃棄物排出量：837g(H25)【H29年度800gに向け】 ○ 産業廃棄物総排出量：3,631千t(H25)【H29年度3,600千tに向け】 ※長野県廃棄物処理計画の目標値により算出					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績			
			H26(当初)	H26(決算)	H27(当初)	
	「レジ袋削減県民スクラム運動」推進事業	直接	・消費者への意識啓発	62	62	130
	食品リサイクルループ構築事業	直接	・農業関係団体との調整 ・モデル候補地の調査	147	28	-
	“チャレンジ800”ごみ減量推進事業	直接	・地方事務所毎に市町村等との協議の場の設置	-	-	518
	産業廃棄物3Rサポート事業	直接	・産業廃棄物3Rフォーラム ・産業廃棄物3Rセミナー ・信州リサイクル製品普及拡大事業	392	391	392
	きれいな信州環境美化運動推進事業	負担金	・関東甲信越静環境活動推進連絡協議会への負担金	75	75	75
循環型社会形成推進功労者表彰	直接	・循環型社会形成推進知事表彰の実施	33	33	33	
自動車リサイクル法に基づく更新事務	直接	・自動車リサイクル法に基づく申請の審査	67	67	15	
第一種フロン類回収事業者の登録更新事務	直接	・フロン回収破壊法に基づく申請の審査	11	11	11	
長野県廃棄物処理計画(第4期)策定事業	直接		-	-	3,583	
事務経費(経常)	直接	・消耗品、コピー使用料等	452	425	451	
合計			1,239	1,092	5,208	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	4,112	2,926	1,239	5,208
	補正予算	8,528	0	0	0
	合計(A)	12,640	2,926	1,239	5,208
	一般財源	480	489	527	526
	県債	0	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0
	その他	12,160	2,437	712	4,682
	決算額(B)	11,550	2,841	1,092	
概算人件費	職員数(人)	4.00	4.00	4.00	4.00
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	33,032	33,032	33,032	33,032
		44,582	35,873	34,124	38,240

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
1人1日あたり一般廃棄物排出量	847g	826g	実績値なし	-	815g
産業廃棄物総排出量	4,341千t	3,615千t	実績値なし	-	3,600千t
マイバッグ等持参率	69.0%	74.4%	68.9%	未達成	80%

目標に対する成果の状況	・1人1日あたり一般廃棄物の排出量は近年横ばい傾向が続いており、H26年度の実績値はないが、直近のH25年度実績は平成24年度の862gから15g減少し、少ない方から数え全国2位になった。 ・産業廃棄物の排出量については、H26年度の実績値はないが、直近のH25年度実績は下水道汚泥等の増加により大幅に増加したため、目標達成が困難になった。 ・マイバッグ等持参率は、高齢者層の持参率は高いが、レジ袋削減県民スクラム運動の主旨が充分浸透していない若年者層の持参率が伸び悩んだため横ばい傾向で推移した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう にしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・市町村等と一般廃棄物の排出量削減に向けた取組を協議する場を設置し、地域の実状に応じた取組を市町村等とともに実施する。 ・リサイクル製品の利用促進や廃棄物の適正処理を働きかけることにより、3Rの促進を図る。また、自主的に減量化に取り組む事業者に対して、研修会等の実施や表彰等を通じて支援を行う。 ・長野県廃棄物処理計画(第4期)において、一般廃棄物及び産業廃棄物の減量化・資源化及び適正な処理に係る計画を策定する。
------------------------	--